



## 今月の公開授業

現代社会 公開授業 「中学校の男女共通制服について」

1年生探究進学科 社会科 教諭 相道 孝志

兵庫県のある中学校が、次年度から制服を男女ともにブレザーとスラックスを標準とすることに決めました。これはLGBTなどの性的少数者やジェンダー平等を考慮して決めたようです。この制度について、「適切である」か「適切ではない」かについて討論を行いました。「適切である」側の意見としては、「LGBTに配慮できる」「スラックスは冬、暖かい」などがあり、「適切ではない」側の意見としては、「みんな同じ服で軍隊のようだ」「多様なものに統一するのか」などがありました。生徒の中には一般的な問題としては賛成だが、自分がこの学校に入学したいかという、複雑だと考える者もいるようでした。性と制服の関係について話し合うことで、この問題について認識を深める機会になったと思います。



現代社会 公開授業 「男女別姓を考える」

1年生普通科 社会科 教諭 相道 孝志

最高裁が5年ぶりに夫婦別姓に関する裁判を大法院で審理することになり、この問題について改めて憲法判断をすることになりました。最近の世論調査では、夫婦別姓に賛成する意見が反対する意見を上まわるような場合もあります。将来、日本で夫婦別姓が法的に認められる可能性が高まっているようです。

夫婦別姓について「賛成」か「反対」かについて討論を行いました。「賛成」側の意見としては、「姓を変える時の手続きが大変」「実際はほとんどの場合、女性が性を変えているのは男女不平等」などがあり、「反対」側の意見としては、「家族の一体感がなくなる」「子供が戸惑う」などがありました。議論の中では、夫婦別姓が認められると、家の表札がどうなるかに興味を持つ生徒が出てきました。法律に関する問題ですが、大変身近な問題であるため、討論の中で興味関心も高まってきたようで、活発な話し合いができました。



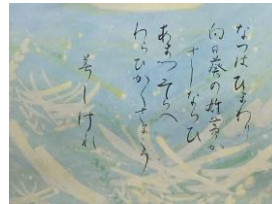
芸術科(書道・美術)&国語科 教科横断授業 実践報告

現代版『枕草子』～四季を奏でる [書道・美術受講生] 協働制作

1年生探究進学科「人間生活探究」 芸術科 教諭 服部英一郎

- 7～8月 書道＝自選の季節で言葉◆(文語文+口語訳)作成。⇒国語科で添削
- 9月 書道＝言葉◆完成! ◆⇒美術受講生へ(背景画の依頼・・・誰の言葉か?)
- 10～11月 書道＝仮名の書[基本線、字形等]の学習 →◆を仮名文字で練習。  
美術＝背景画◆を描く。(技法＝**裏彩色** 和紙・水干絵の具・ドーサ液等)
- 11～12月 美術＝背景画◆を裏打ち。(和紙・障子糊・糊刷毛 使用)  
→背景画◆完成!
- 1月初旬 背景画◆が書道に届く。《感動》 一行構成や余白の工夫～練習。  
中旬 書道＝清書(本紙は1枚のみ)《超緊張》 ◆+◆= 作品★完成!!  
下旬 合同観賞会(書道&美術) ①ペア鑑賞→②作品紹介(全体観賞)

作品例



◆国語科からは、生徒の意図が伝わる表現へのアドバイス、歴史的仮名遣いや文法等の指摘を頂きました。 ◆美術教諭とは同方向で内容の理解を共有しました。裏彩色[技法]での背景画は秀逸で今回の作品効果は背景画にあるといっても過言ではありません。 ◆合同観賞会は良い雰囲気有意義な活動ができました。①自分の感じたことを言葉で表現し作品の意味や価値を共有できました。②自己の考えを深め他者を価値ある存在として尊重できました。③鑑賞シートを共通の1枚にし、双方からのアプローチが主体的・対話的で深い学びができました。 ◆生徒の感想では、このコラボ授業は本当に良かった等の好評が数多く聞かれました。 ◆言葉から感じた印象を色と形で抽象的に描き、その抽象画の上に言葉を散らし書き、その中で互いの感性は交わり、相手は見えぬとも対話は生じていたと思います。

## 第6・7回 PT会議より

12月25日(金) 「タブレットを使ってみよう」と題し、福島先生を講師として、Google Classroomやロイロノートを使って、どのように授業で活用できるか研修を行いました。



1月26日(火) 服部先生の「美術・書道・国語の教科横断型授業」の総括と報告の後、大学入学共通テストの分析をグループにて行い、発表しました。新傾向問題の対策として、今後授業展開をどのように工夫し、具体的に生徒たちにどんな問題に取り組ませていくか等について、活発な意見が交わされました。